

【食品微生物研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	<p>危害微生物の情報発信に関する分科会 (4/26、12:00-14:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー開催および成書化の内容と進め方の具体案作成 <p>部会全体会議 (4/26、14:00-16:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要課題の進捗報告と進め方の具体化 ・ 危害微生物の情報発信 (セミナー、出版) ・ 毒性学教育講座 (第 20 回記念講座、出版) ・ 新テーマ提案: MALDI-TOFMS を用いた微生物同定勉強会 (4/26、16:00-17:00) ・ 第 3 回開催 (E.sakazakii レポート (FAO/WHO2006) の雑誌会) ・ 毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) ・ 第 17 回開催 (4/13、14:00-17:00, 講師: 江馬 真先生) <p>次回部会全体会議: 6/8、14:00 ~</p>
5, 6 月	<p>MALDI-TOFMS 分科会 (5/19、13:00 ~ 15:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ILSI としての活動案の作成 <p>危害微生物の情報発信に関する分科会 (6/8、12:00 ~ 14:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナープログラム案および成書化の内容と進め方案の作成 <p>部会全体会議 (6/8、14:00 ~ 16:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要課題の進捗報告と進め方の具体化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 危害微生物の情報発信 (セミナー、出版) ・ 新課題 (MALDI-TOFMS による同定技術) の進め方 ・ 毒性学教育講座 (第 20 回記念講座の内容、出版計画) <p>勉強会 (6/8、16:00 ~ 17:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 回開催 (E.sakazakii レポート (FAO/WHO2006) の雑誌会) <p>次回部会全体会議: 9/17、14:00 ~</p>
7, 8 月	<p>危害微生物の情報発信に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナープログラムの決定と関連団体への雑誌、Web 掲載依頼 ・ 書籍出版に向けた原稿作成 <p>毒性学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 18 回を開催 (7/27 (水) 14:00-17:00) ・ 講師: 江馬 真先生 (産総研) ・ 演題: 神経発生毒性およびナノ材料の毒性影響 (生殖発生毒性) ・ 参加人数: 23 名 <p>次回部会全体会議: 9/17、14:00 ~</p>
9, 10 月	<p>部会全体会議</p> <p>-1 危害微生物の情報発信に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー開催 (12/5 予定) に向けた準備 ・ 書籍出版に向けた原稿の最終確認

	<p>-2 MALDI-TOFMS 勉強会の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程と内容の具体化 (11/15 予定 / 川崎浩子氏 (NITE)) 毒理学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) の開催 ・ 第 19 回を開催 (9/21 (水) 14:00 ~ 17:00) ・ 講師: 大沢 基保先生 ((財) 食品薬品安全センター 秦野研究所) ・ 演題: 免疫毒性 (本来の免疫毒性の話から、皮膚吸収、 食品アレルギーの話まで) ・ 参加人数: 19 名 <p>次回部会全体会議: 11/15, 16:00 ~</p>
11, 12 月	<p>部会全体会議 (11/15、16:00 ~ 於 味の素)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12/5 開催予定講演会の実施に向けた最終確認 ・ 書籍出版と販売に向けた最終確認 <p>MALDITOFMS 勉強会 (11/15、14:00 ~ 16:00、於 味の素)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師: 川崎浩子氏 (NITE NBRC) ・ 参加人数: 29 名 <p>講演会の開催 (12/5、10:00 ~ 17:30、於 星陵会館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演題: 「清涼飲料水における芽胞菌リスクとその制御 - 芽胞菌の基礎と応用 - 」 ・ 参加人数: 266 名 <p>書籍出版と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書籍名: 「清涼飲料水における芽胞菌の危害とその制御」 ・ 販売実績: 総計 118 部 (謹呈 7 部含む/11 年末時点) <p>毒理学教育講座 (食品リスク研究部会と共催) の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 20 特別講演会を開催 (12/14、13:00 ~ 17:00) ・ 参加人数: 57 名 <p>次回部会全体会議: 1/12, 15:30 ~</p>

食品安全研究会

【食品リスク研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>リスクアセスメント評価指標に関する資料をメンバーで分担し作成中（「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ（Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010）日本語訳」、「リスク評価の用語説明」、「評価指標一覧」）。原稿内容確認のため、国立衛研、広瀬明彦先生訪問（1/28、2/10、2/22）。 11年第1回運営会議開催（1/17, 10:00～12:30, 於サントリーお台場会議室） 各スケジュールの状況把握、今後の課題検討 毒性学教育講座（食品微生物研究部会と共催） ・第16回開催（1/17, 14:00～17:00, 於サントリー、37名参加） 講師：食品農医薬品安全性評価センター 林真先生 テーマ：遺伝毒性（変異原性） <次回運営会議：3/7, 13:30～16:30, 於 ILSI Japan 事務局 ></p>
<p>3, 4 月</p>	
<p>5, 6 月</p>	<p>リスクアセスメント評価指標に関する資料を作成し、ILSI Japan HPに掲載した（「遺伝毒性発がん物質のMOEアプローチ（Benford D. <i>et al</i>, <i>Food Chem. Toxicol.</i> 2010）日本語訳」、「リスク評価の用語説明」、「評価指標一覧」）。 7/14リスク講演会準備 毒性学教育講座関連 ・第1回-第9回講義の成書化に向けて、原稿修正作業 ・第20回記念講演準備 11年第4回運営会議開催（6/13, 13:30～16:30, 於ILSI Japan事務局） ・各スケジュールの状況把握、今後の課題検討 <次回運営会議：7/27, 10:30～12:30, 於サントリー(株)会議室 ></p>
<p>7, 8 月</p>	
<p>9, 10 月</p>	<p>栄養とエイジング国際学会（9/30） ・MOE（Margin of Exposure）に関する調査内容発表 ・部会紹介ポスター発表 毒性学教育講座（食品微生物部会と共催） ・第19回開催（9/21, 14:00～17:00, 於サントリー, 19名参加） 講師：(財)食品薬品安全センター・大沢基保先生 テーマ：免疫毒性、アレルギー ・第20回特別講座準備、第1～9回の成書化作業 リスクアセスメント勉強会開催（10/31, 14:00-17:00, 於サントリー, 35名参加） 講師：国立衛研・広瀬明彦先生 テーマ：食品リスクアセスメントの概要解説 11年第6回運営会議（9/21, 10:30～13:00） <次回運営会議：11/29, 10:30～, 於長谷川香料 ></p>
<p>11, 12 月</p>	<p>日本リスク研究学会（11/19～20, 於 静岡大学）口頭発表 演題名「食品リスク評価の国際動向 ～MOE アプローチによるリスク比較と優先順位付け」 日本環境変異原学会（11/21～22, 於 学術総合センター）ポスター発表 演題名 「MOE（Margin of Exposure）アプローチによる食品中遺伝毒性物質のリスク評価の動向調査」</p>

	<p>リスクアセスメント勉強会開催(11/29, 14:00 ~ 17:00, 於 長谷川香料, 38 名参加) 講師：国立衛研・広瀬明彦先生 テーマ：食品リスクアセスメント解説（具体的事例） 毒性学教育講座（食品微生物部会と共催） 第 20 回特別講演（12/14, 於サントリー, 57 名参加） 出版「毒性学教育講座-上巻-」第 1 ~ 9 回までの講義内容を掲載 11 年第 7 回運営会議（11/29, 10:30 ~ 12:30） <次回運営会議：1/30, 13:30 ~ , 於 ILSI 事務局 ></p>
--	--

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

食品安全研究会

【食品アレルギー研究部会】

1, 2 月	“ Euro Prevall ” プロジェクトの文献翻訳のまとめ作成中。
3, 4 月	米国の学校栄養協会が、2008 年に学校（おもに小学校）を対象に実施した食品アレルギーの調査結果について和訳資料を作成した。食品アレルギーの患者の会にも参考として情報提供を行った。
5, 6 月	ILSI Europe 食物アレルギー・シンポジウムのプレゼン資料について和訳を作成し、情報共有。
7, 8 月	食物アレルギーに関する国内外の最近の報告書・ニュースについてメンバーに配信
9, 10 月	特になし。
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

食品安全研究会

【香料研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

食品安全研究会

【食品安全調査研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

食品安全研究会

食品安全研究会全体

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2011>

バイオテクノロジー研究会

【植物研究部会】

1, 2月	
3, 4月	・ 第5回部会開催(4/19) 2011年度の活動として、環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)、Q & A、用語集の作成を検討することが合意された。 ・ 第6回「栄養とエイジング」国際会議のバイオ部会プログラムとしてモンサント社から、話題提供していただけることに決定。テーマは、遺伝子組換え機能性大豆。
5, 6月	・ 第6回部会開催(5/30) 2011年度の活動として、環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)、Q & A、用語集の作成につき討議。
7, 8月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
9, 10月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複。
11, 12月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複。

*環境リスク評価分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	6月23日：部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、経理担当事務局次長、CBIJ 事務局長(新・旧)との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につきCBIJ側から説明および質疑応答。ほぼ、概要が決まる。予算面の確定を早急に決める予定。
7, 8月	部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、CBIJ 事務局長との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につき討議。事業費予算案を提示。
9, 10月	部会長、幹事、事務局コーディネーターとILSI Japan 事務局長、との会合。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(ニュースレター、Web情報)の進め方、詳細につき討議。事業費予算案を再提出。
11, 12月	ILSI CERA 日韓シンポジウム開催(ソウル; 11/18)。 ・ 農林水産省の技術安全課へ上記シンポジウムの概要報告および消費安全課にご発表参加御礼 ・ ERA プロジェクト調査報告(December 2011)発行 ・ 環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供(報告、Web情報)発信に向けての勉強会。

*アレルギー性タンパク質の分析方法分科会

1, 2月	
3, 4月	

5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	HESI の Dr. Greg Ladics の講演「アレルギー誘発性に関する新知見。CLI がまとめた熱安定性およびバイオインフォマティクス報告書の紹介」を第 6 回バイオ部会開催に合わせて実施 (9/6)。
11, 12月	イルシー誌への寄稿作業中(発表された Bioinformatics および Heat stability 論文の記事)。

*** 組換え体検知法分科会**

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	ISO 総会に向けての対応会議 (FAMIC 主催) に出席して意見提供 (10/11、布藤、末木)
11, 12月	ISO 総会報告 (第 7 回部会内)

バイオテクノロジー研究会

バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 回部会開催 (1/25) ; 2011 年度の活動計画検討 ・ ILSI 本部総会に部会長が出席 ・ 第 9 回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会 (11/24) に部会長が出席
3, 4 月	
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議のバイオ部会プログラムとしてモンサント社からの講演者決定。テーマは、遺伝子組換え機能性大豆。 ・ 6 月 17 日 : ホームページ利用に関する、部会長、ホ - ムページ作成者、事務局担当との打ち合わせ。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 5 回部会開催 (7/7) 環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供 (ニュースレター、Web 情報) の作業の流れ、微生物分科会の再生、官庁との交流の活性化につき討議 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議のバイオテクノロジー研究会としてのポスター発表原稿提出。 ・ 8 月 10 日 : 環境リスク評価に関する専門家を対象にしたニュースレターの作成に関して林健一氏との契約締結。 ・ 韓国で開催予定の ILSI CERA ワークショップについての農水省との打ち合わせ。 ・ 筑波大 小口教授に原稿査読の契約書作成・送付。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回部会開催 (9/12) 環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供 (ニュースレター、Web 情報) 発信に向けての最終確認。 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の ILSI Japan30 周年記念シンポジウムにバイオテクノロジー研究会としてのポスター発表および部会からの講演者 1 名 (Dr. Richard S. Wilkes モンサント US) が発表 (9/28 ~ 30) 。 ・ 韓国で開催予定の ILSI CERA ワークショップについての準備作業。 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の最終会議に出席 (10/20、橋本部会長)
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 7 回部会開催 (12/12) 2011 年度活動報告および 2012 活動計画の確認。環境リスク評価に関する専門家を対象にした情報提供 (報告、Web 情報) 発信に向けての勉強会。 ・ ILSI CERA 日韓シンポジウム開催 (ソウル ; 11/18) 。 ・ 農林水産省の技術安全課へ上記シンポジウムの概要報告および消費安全課にご発表参加御礼 ・ ERA プロジェクト調査報告 (December 2011) 発行

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

1, 2 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会を 9 回開催した。プログラムの完成に向けて最終調整の会合を 2 月 24 日に実施した。東京大学内の弥生講堂一条ホールにて、2011 年 9 月 28～30 日の 3 日間開催予定。1st サーキュラーを作成した。
3, 4 月	2011 年に ILSI Japan の 30 周年記念事業を兼ねて行う予定の第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の開催に向けてプログラム委員会を開催し、プログラムがほぼ完成した。日本語と英語版の 1st アナウンスメントを作成した。引き続き、2nd アナウンスメントを作成した。東京大学内の弥生講堂・一条ホールにて、2011 年 9 月 28～30 日の 3 日間開催予定。
5, 6 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議開催に向けた準備を進めた。具体的には、スケジュールと進捗との照合・確認、演者との連絡状況、要旨の翻訳計画、当日の役割分担、等を打ち合わせた。
7, 8 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議開催の準備を継続推進した。具体的にはスケジュールと進捗との照合・確認、広報の拡大、要旨の翻訳と要旨集の準備、等を進めた。
9, 10 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議を開催した（9/28, 29）。今回は“超高齢化社会のウェルネス - 食料供給から食行動まで - ”をテーマに掲げ、海外招聘講演 6 題、国内招聘講演 14 題の発表と約 230 名の参加のもと、活発な議論が交わされた。
11, 12 月	・部会開催（12/20）。2011 年度活動報告および、2012 年度活動計画案の確認。総会後のライフサイエンスシンポジウムプログラム案の確認。 ・理事会出席（12/21）。上記 2 案件の主旨説明と議論。

*** 肥満タスクフォース**

1, 2 月	次の活動に向けて計画中。
3, 4 月	次の活動に向けて計画中継続。
5, 6 月	6 月 16 日に次の計画の予備打ち合わせを実施した。
7, 8 月	検討中。
9, 10 月	新しい基本方針のテーマが提案された。
11, 12 月	

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

栄養健康研究会

【炭水化物研究部会】

1, 2 月	GR プロジェクトが活動中。
3, 4 月	GR プロジェクトが活動中。
5, 6 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議最終日に実施予定の炭水化物研究部会報告としての発表案を検討した。
7, 8 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議最終日に実施予定の炭水化物研究部会報告としての発表を検討した。
9, 10 月	第 6 回「栄養とエイジング」国際会議最終日に炭水化物研究部会報告としての口頭発表を実施した。
11, 12 月	

*GR プロジェクト

1, 2 月	GR リング試験とりまとめ実施中。
3, 4 月	GR リング試験とりまとめ実施中。
5, 6 月	GR プロジェクトが活動中。
7, 8 月	GR プロジェクトが活動中。
9, 10 月	GR プロジェクトの内容を第 6 回国際会議最終日に報告した。
11, 12 月	

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	2月4日、茶情報分科会を実施、ILSI 茶成分データベースの拡充方針について議論を行った。世界の茶の成分データベース設計時のいくつかの目的の中で、これまで地域ごとの成分の比較と分類を主目的として進めてきたが、今後の主目的を、特定の機能成分に着目したデータベースの拡充とし、進め方について検討することとした。
3, 4 月	データベースへの追加提案のあった成分について調査確認中。
5, 6 月	5月13日茶情報分科会開催。茶葉成分データベースへの分析項目追加に関して、文献調査結果をもとに分析対象成分と分析法、茶葉選択の方向性、データベース構築に際して明らかにすべき事項について議論を行った。
7, 8 月	7月15日茶情報分科会開催。第6回「栄養とエイジング」国際会議への部会ポスター掲示の確認、茶葉中のレアポリフェノール分析法の検討進捗報告および論文に報告されているレアポリフェノールの体内動態に関する議論を行った。
9, 10 月	9月9日、茶情報分科会開催。第6回「栄養とエイジング」国際会議向け部会紹介ポスターの内容確認、茶葉中のレアポリフェノール分析法、レアポリフェノールの体内動態、分析用茶葉試料の加工方法に関する議論を行った。
11, 12 月	11月18日、茶情報分科会開催。次年度の活動計画の確認、茶葉中のレアポリフェノール分析法検討の進捗報告、分科会活性化に関する意見交換を行った。

【日本の食生活と肥満研究部会】

1, 2 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。 今後モノグラフ作成に向けて検討を開始する。
3, 4 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。 今後モノグラフ作成に向けて検討を開始する。
5, 6 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。 今後モノグラフ作成に向けて検討を開始する。
7, 8 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容を、雑誌へ投稿すべく継続進行中。 今後モノグラフ作成に向けて検討を開始する。
9, 10 月	3 分科会ごとにとりまとめた内容がすべて雑誌へ投稿された。 現在 2011 年 12 月発行目処にモノグラフ作成に向けて検討を開始した。
11, 12 月	2011 年 12 月、表記部会活動内容をまとめたモノグラフを予定通り発刊した。

*** 発酵製品の多様性分科会**

1, 2 月	日本調理科学会誌、Vol . 43、No. 2、131-135 (2010) に論文が掲載され、終了、今後モノグラフ化を進める。
3, 4 月	日本調理科学会誌、Vol . 43、No. 2、131-135 (2010) に論文が掲載され、終了、今後モノグラフ化を進める。
5, 6 月	別刷をもとに今後モノグラフ化を進める。
7, 8 月	別刷をもとに今後モノグラフ化を進める。
9, 10 月	別刷をもとにモノグラフ化を進めた。
11, 12 月	

*** 脂質の種類分科会**

1, 2 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号、383-392 に掲載され、終了、今後モノグラフ化を進める。
3, 4 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号、383-392 に掲載され、終了、今後モノグラフ化を進める。オレオサイエンス編集委員会から同雑誌の転載許可願いを提出した。
5, 6 月	オレオサイエンス雑誌に受理され、2010 年 10 月号、383-392 に掲載され、終了、今後モノグラフ化を進める。オレオサイエンス編集委員会から同雑誌の転載許可願いを提出し、モノグラフへの転載許可を得た。
7, 8 月	オレオサイエンス編集委員会から同雑誌の転載許可願いを提出し、モノグラフへの転載許可を得たので、今後モノグラフ化を進める。
9, 10 月	オレオサイエンス編集委員会から同雑誌の転載許可願いを提出し、モノグラフへの転載許可を得たので、モノグラフ化の作成を進めた。
11, 12 月	

* 食事の量分科会

1, 2 月	日本調理科学会誌へ投稿した内容が採択され、同誌 44 巻、No.1 、79 - 84 (2011)に掲載され、終了した。今後はモノグラフ化を目指す。また、INTERMAP Study のまとめ継続中。
3, 4 月	今後はモノグラフ化を目指す。 また、INTERMAP Study のまとめ継続中。
5, 6 月	今後はモノグラフ化を目指す。 また、INTERMAP Study のまとめ継続中。
7, 8 月	今後はモノグラフ化を目指す。 また、INTERMAP Study のまとめの件はこれ以上進行できないことから、断念せざるを得ないこととなった。
9, 10 月	今後はモノグラフ化を目指し、進行させた。モノグラフの発行を 2011 年内を目処とする。
11, 12 月	

食品機能性研究会

食品機能性研究部会

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 分科会（脳機能、免疫能、関節の運動機能）開催。脳機能分科会はアカデミアと個々の会議を開始。 ・ EU モノグラフ “ Functional Foods ; From Science to Health and Claims ” 翻訳版の最終化。 ・ 第 9 回栄養とエイジング国際会議プログラム委員会（11/24）に幹事長が出席
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 8 回部会開催（4/14）3 分科会（脳機能、免疫能、関節の運動機能）の現状報告。脳機能分科会は 1 名のアカデミアと面談をした。 ・ EU モノグラフ “ Functional Foods ; From Science to Health and Claims ” 翻訳版は PDF 化して印刷する。印刷会社への依頼はしない。 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の前日に ILSI Europe 事務局長の Dr. Nico van Belzen 氏に、EU のヘルスクレームの近況に関して講演していただくことに決定。 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の食品機能研究部会プログラムとして武田弘志（国際医療福祉大 薬学部 教授）氏から、話題提供していただけることに決定。テーマは、脳機能の評価法。
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の前日に ILSI Europe 事務局長の Dr. Nico van Belzen 氏と、EU のヘルスクレームの近況に関して講演していただくことにつき、山口事務局長が ILSI Europe 本部で打ち合わせ。日程は、9 月 27 日の午後に決定
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議のポスター発表原稿の提出 ・ 第 7 回部会開催（7/12） ・ 「EU のヘルスクレームセミナー」開催案内の開始
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の ILSI Japan30 周年記念シンポジウムに食品機能性研究部会としてのポスター発表および部会からの推薦講演者 1 名（武田弘志 <国際医療福祉大>）が発表（9/28 ~ 30）。 ・ 第 8 回部会開催（9/13）。 ・ 「EU のヘルスクレームセミナー」 <Dr. Nio van Belazen（ILSI EU 事務局長）> 開催（9/27）。 ・ 第 6 回「栄養とエイジング」国際会議の最終会議に出席（10/20、末木部会長代行）。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 9 回部会開催（12/6）。 ・ 2011 年度活動報告および 2012 活動計画・予算案を事務局に提出。

*** 脳機能分科会**

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	5 月 27 日：脳機能の評価系につき、武田弘志（国際医療福祉大 薬学部 教授）氏と面談。
7, 8 月	
9, 10 月	武田弘志による行動薬理学を中心とした講演と意見交換（10/26）。
11, 12 月	特に無し。

* 免疫能分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	上野川アドバイザーとの会合(9/5)。
11, 12月	特に無し。

* ロコモ分科会

1, 2月	
3, 4月	
5, 6月	
7, 8月	アドバイザーの選択に向けて、ロコモを栄養と診断の両面から研究されている東京近郊の研究者の調査を行った。
9, 10月	都健康長寿医療センター研究所 新開省二部長を訪問。加齢による虚弱に関する最新研究動向を解説していただき、栄養の役割につき意見交換した(9/12)。
11, 12月	アカデミーのアドバイザー交渉の継続。

寄付講座「機能性食品ゲノミクス」

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	第 2 期第 2 回の講演会を企画中。場所は東京大学・弥生講堂、時期は 2011 年 12 月頃を予定。
7, 8 月	第 2 期第 2 回の講演会を企画中。場所は東京大学・弥生講堂、時期未定 (2012 年 6 月頃)
9, 10 月	第 2 期第 2 回の講演会を企画中。場所は東京大学・弥生講堂、時期未定 (2012 年 6 月頃)。
11, 12 月	第 2 期第 2 回講演会の日時を 2012 年 6 月 5 日 (火) 午後に決定した。場所は東京大学 弥生講堂・一条ホール (東京、文京区弥生)。

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

1, 2月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/11, 12, 13, 14, 20, 25 墨田区介護予防事業「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>2/14 墨田区介護予防サポーター養成講座 講義「栄養改善」(講師:木村美佳、墨田区女性センター)</p> <p>2/15~17 益田市シルバー人材センター「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳、益田市・島根県)</p> <p>2/18 墨田区特定高齢者事業「口腔機能向上プログラム」講義「食べて生き生き術」(講師:木村美佳、墨田区役所)</p> <p>2/3, 4, 8, 9, 10, 22 墨田区介護予防事業「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p>
3, 4月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>3/8~10 益田市シルバー人材センター「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳、益田市・島根県)</p> <p>4/1 墨田区「すみだテイクテン」事業委託契約締結(平成23年度)</p>
5, 6月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/10, 17, 18, 19, 20, 26「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>6/7, 16, 21, 22, 23, 24「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>6/22 世田谷区主催介護予防教室「元気生活のための筋力アップ教室」(講師:木村美佳、世田谷区上北沢・上北沢ホーム)</p> <p>6/27~29 岩国市社会福祉協議会錦支部主催「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳、山口県岩国市)</p>
7, 8月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>7/5, 19, 20, 21, 22, 28 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>7/4~5, 7/25~26, 8/8 NPO 法人国民健康会議主催「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳)</p> <p>7/11~13 岩国市社会福祉協議会錦支部主催「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳、山口県岩国市)</p> <p>8/11 墨田区広報誌「すみだ」で、23年度「すみだテイクテン」初心者教室の募集開始</p>
9, 10月	<p>テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/2 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会 「最新研究が教える食事の秘訣～高齢者は肉も脂も食べよう～」 (講師:人間総合科学大学 熊谷修教授 東京・墨田区)</p> <p>9/6, 7, 8, 9, 13, 22, 27 「すみだテイクテン 第7期講習会(初心者向)」(墨田区5会場)</p> <p>9/14, 15, 26, 27, 29 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>10/3, 4, 5, 6, 11, 14, 18, 25, 26, 27 「すみだテイクテン 第7期講習会(初心者向)」</p>

	<p>(墨田区5会場)</p> <p>10/14, 18, 20, 25, 26, 27 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>10/13 「泉北ほっとけないネットワーク」大阪市立大学春木研究室主催テイクテン講習会(講師:木村美佳、大阪・堺市 泉北ニュータウン槇塚台)</p> <p>10/24 世田谷区主催介護予防教室(講師:木村美佳、世田谷区上祖師谷グループホームかたらい)</p> <p>リズムテン(LiSM10!®)</p> <p>9/5 リズムテンカウンセラー養成DVD用講義撮影(「栄養」講師:日本女子大学丸山千寿子教授、「カウンセリング手法」講師:木村美佳)</p>
11, 12月	<p>テイクテン(TAKE10!®)</p> <p>11/1, 2, 4, 8, 10, 15, 18 「すみだテイクテン 第7期講習会(初心者向)」(墨田区5会場)</p> <p>11/17, 22, 24, 25, 29, 30 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>11/8 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師:木村美佳)(篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>11/14 墨田区介護予防サポーター養成講座 講義「栄養改善」(講師:木村美佳、墨田区役所)</p> <p>11/28 NPO 法人国民健康会議主催「介護予防リーダー養成講習」(講師:木村美佳)</p> <p>12/9, 13, 15, 20, 21, 22 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>12/13 ILSI Japan 主催講演会「働き盛り世代の健康とエクササイズ」“そのための実践。日常でできる軽い運動(TAKE10!®)”(演者:古名丈人先生、青山ダイヤモンドホール)</p> <p>12/15 日本版 TAKE10!®の紹介、及びベトナム Thaibinh 省での導入の可能性検討会(演者:木村美佳、出席者:Ministry of Health, NIN, Vietnam Public Health Association, Thaibinh 省の各担当者及びILSI Japan 3名、計19名、Thaibinh・ベトナム)</p> <p>12/16 ILSI Japan PAN Program の紹介、VPHA の活動紹介とベトナムへの日本版 TAKE10!®導入についての検討会議(演者:戸上貴司・木村美佳、出席者:Ministry of Health, VPHA, NIN の各担当者, ILSI Japan 3人等、計11人、Hanoi)</p> <p>12/22 「泉北ほっとけないネットワーク」大阪市立大学春木研究室主催テイクテン講習会(講師:木村美佳、大阪・堺市 泉北ニュータウン槇塚台)</p> <p>リズムテン(LiSM10!®)</p> <p>12/7 リズムテンDVD 試写</p> <p>12/20 リズムテンDVD MA(音声編集)</p>

【Project SWAN (Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	1/21, 25, 27 コミュニティにおけるプロジェクトのキックオフ・ミーティング (Tu Liem 地区, Hanoi) 1/22 2011 年活動計画の策定 (Nam Dinh) 2/17 IEC 活動に関する会議 (Nam Dinh) 2/18, 22 質問票を用いた住民の行動変容測定の前調査 (Nam Dinh & Tu Liem 地区, Hanoi) 2/24 水処理施設改造に関する会議 (Thanh Tri 地区, Hanoi) 2/26 2011 年活動計画の策定 (Hanoi)
3, 4 月	3/16 政策提言会議 (出席者: ベトナム国立栄養研究所、地方給水センター、ハノイ給水センター等計 40 名、Hanoi) 3/18~31 対象地域住民の行動変容調査 (5 歳以下の幼児の母親を対象とした、水と衛生・栄養に関する質問票による調査、Hanoi, Nam Dinh) 4/21~23 インドネシアでの Project SWAN の実施可能性を調査 (Indonesia)
5, 6 月	5/11 政策提言会議 (出席者: ベトナム国立栄養研究所、保健省、地方給水センター、ハノイ給水センター等計 12 名、Hanoi) 5/9,10,12 資機材供与署名式 (Hanoi, Nam Dinh) 5/27~28 水管理組合への技術活動トレーニング (Nam Dinh) 6/2~3 水管理組合への技術活動トレーニング (Hanoi) 6/27 資機材供与署名式 (Nam Dinh) 6/28~29 水管理組合への技術活動トレーニング (Nam Dinh)
7, 8 月	7/21~22 水管理組合への技術活動トレーニング (Hanoi) 7/26, 28, 8/10 住民を対象とした栄養・安全な水に関するワークショップ (Hanoi) 8/9, 11, 19 村の保健師への啓発活動トレーニング (Hanoi, Nam Dinh) 8/29, 31 資機材供与署名式 (Hanoi) 8/30 ハノイ市人民委員会表敬訪問 (Hanoi)
9, 10 月	9/1 政策提言会議 (出席者: ベトナム国立栄養研究所、保健省、地方給水センター、ハノイ給水センター等計 16 名、Hanoi) 9/7, 27 村の保健師への啓発活動トレーニング (Hanoi) 9/8~9 水管理組合への技術活動トレーニング (Hanoi) 9/18, 24, 28 住民を対象とした栄養・安全な水に関するワークショップ (Hanoi, Nam Dinh) 10/12 資機材供与署名式 (Hanoi) 10/21 安全な水をテーマとした絵画コンテスト (Nam Dinh) 10/24~31 水処理施設現状調査 (Hanoi, Nam Dinh)
11, 12 月	11/15~16 水管理組合への技術活動トレーニング (Nam Dinh) 11/17~18 村の保健師への啓発活動トレーニング (Hanoi) 11/29~30 世帯訪問による栄養・安全な水に関する啓発活動 (Hanoi, Nam Dinh) 12/1 住民を対象とした栄養・安全な水に関するワークショップ (Hanoi)

	<p>12/13 政策提言会議（出席者：ナムディン市人民委員会、ナムディン給水センター、ナムディン医療センター等計 11 名、Nam Dinh）</p> <p>12/14 政策提言会議（出席者：地方給水センター、ハノイ給水センター、ハノイ医療センター等計 12 名、Hanoi）</p>
--	---

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	<p>1-2 月 農水省 MAFF 事業「Zambales 州の鉄強化米マーケット・トライアル」継続実施 (Philippines)</p> <p>2 月 小麦粉に鉄とリジンを強化するプログラムについて、A 社と共同研究契約締結 (India)</p> <p>2 月 鉄強化魚醤、鉄強化醤油のカンボジア全土への展開の提案を GAIN (Global Alliance for Improved Nutrition) が採択 (Cambodia)</p>
3, 4 月	<p>3 月 農水省 (MAFF) 事業「鉄強化米マーケット・トライアル」終了 (Zambales 州、Philippines)</p> <p>3 月 財団法人飯島記念食品科学振興財団の学術助成研究事業「米の鉄強化」実証試験終了 (Vietnam)</p>
5, 6 月	<p>5~6 月 「鉄強化米」マーケット・トライアル実施中 (~2011 年 8 月) (Zambales 州、Philippines)</p> <p>5~6 月 財団法人飯島記念食品科学振興財団の学術助成研究事業「米の鉄強化」実証試験結果の分析および評価進行中 (Vietnam)</p>
7, 8 月	<p>7~8 月 「鉄強化米」マーケットトライアル実施 (Zambales 州、Philippines)</p> <p>8/18~19 インドにおける米、小麦粉の栄養素強化計画会議 (Bangalore, India)</p>
9, 10 月	<p>9 月 「鉄強化米」の Zambales 州 (フィリピン) でのマーケットトライアルが終了。商業化を進めるためにアジア開発銀行に財政的支援を要請する提案を行い、採択を待つ。</p>
11, 12 月	<p>11/2 カンボジア食品強化委員会主催 Workshop on IFFS/IFSS with Phnom Penh Producers (演者: 戸上貴司他、出席者 NSCFF, RACHA 等 80 名、Phnom Penh, Cambodia)</p> <p>12 月 ILSI-India と共同で、鉄とリジンの強化米を使った介入試験実施可能性調査を決定。今春、調査結果を評価する (India)</p>

ILSI Japan 活動報告 <2011 >

CHP

CHP全体

1, 2月	
3, 4月	4/19 ILSI SEAR の年次総会にて Project SWAN と Project IDEA について報告(戸上)。
5, 6月	5/23 22 年度活動報告会 (企業連絡会)
7, 8月	7月 ニュースレター (日本語版、英語版) 発行 (No. 14)
9, 10月	
11, 12月	

ILSI Japan 活動報告 <2011>

国際協力委員会

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアプロジェクト（東アジアの食品等の規格基準、分析方法の調査と結果の共有化）第2期：韓国、中国、インドネシア、タイの食品規格基準および試験法に関する資料を入手 ・バンコク国際会議（3/4）準備：農水省と協同調整。プログラム確定。セッティングはILSI SEARが担当。農水省よりASEAN+3およびAPECへアナウンス ・受託事業【海外の栄養成分表示調査】：対象国（メルコスール加盟国（アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、パラグアイ）、チリ、中国（本土、香港）、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、およびコーデックス（その他可能であれば、ベネズエラ、メキシコ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド））の調査を開始。韓国、中国（本土、香港）、台湾、インド、メルコスール加盟国より資料を入手 ・第3回 BeSeTo 会議準備：9/27 都内ホテルにて開催予定 ・食品添加物評価書の英訳：有識者により監修中 ・部会（第1回（2/1）および第2回（2/17））開催
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアプロジェクト（東アジアの食品等の規格基準、分析方法の調査と結果の共有化）第2期：下記バンコク国際会議資料と合わせ、406 ページに及ぶ報告書を農水省へ提出。ILSI Japan HP に掲載予定 ・バンコク国際会議（3/4）開催：農水省との協同開催。ASEAN、APEC 関係者を含め、120 名を超える参加者あり ・次期（平成 23 年度）東アジアプロジェクト：平成 23 年度農山漁村 6 次産業化対策事業に係る課題提案書を作成、提出 ・受託事業【海外の栄養成分表示調査】：各国の食品成分表（Food Composition Table）の有無を調査。また、表示義務化国の一つである韓国に焦点を当て、栄養表示マルチリストを作成予定 ・第3回 BeSeTo 会議準備：9/27 開催予定。都内ホテル予約済 ・部会（第3回（4/15））開催
5, 6 月	<p>東アジアプロジェクト第2期報告書（平成 22 年度）を pdf 化し、ILSI Japan HP に掲載。英訳版作成中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期（平成 23 年度）東アジアプロジェクト：平成 23 年度農山漁村 6 次産業化対策事業に係る課題提案書を農水省へ提出、採用決定。 ・受託事業【海外の栄養成分表示調査】：表示義務化国の一つである韓国に焦点を当て、栄養表示マルチリストを作成、消費者庁へ提出。これに加え、メルコスール、東南アジアのデータも合わせ、マルチリスト作成中。 ・当会活動効率化のため、5 つのワーキンググループを設立、メンバーを設定。7 月よりグループごとに活動開始予定。 ・第3回 BeSeTo 会議準備：9/27 都市センターホテル（東京）にて開催決定。議題検討中。 ・部会（2011 年度第4回（5/27）、第5回（6/29））開催。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアプロジェクト第2期報告書（平成 22 年度）の英訳版を作成。pdf 化し、ILSI Japan HP に掲載 (http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/English/COM/ECom-W.html) ・次期（平成 23 年度）東アジアプロジェクト：5 つのワーキンググループを設立、グループごとに活動開始 ・受託事業【海外の栄養成分表示調査】：栄養表示マルチリスト作成中

	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回 BeSeTo 会議：9/27 都市センターホテル（東京）にて開催決定。議題検討中 ・「添加物に関する食品健康影響評価指針」 英語訳を ILSI Japan HP に掲載 (http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/W2011/Guidelines_May_2010.pdf) ・部会（2011 年度第 6 回（8/2））開催
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度東アジアプロジェクト：食品添加物に関する調査表を作成し ILSI 中国、韓国、東南アジア支部に依頼。来年の国際会議開催に向け、事前打ち合わせをインドネシア・ジャカルタにて行い、同地で ASEAN 食品安全会議が来年 2/22-23 に開催されるのに合わせ、その前日 2/21 に開催することに決定 ・受託事業【海外の栄養成分表示調査】：現時点で入力可能な事項を記入し、消費者庁へ提出 ・第3回 BeSeTo 会議：9/27 都市センターホテル（東京）にて開催した。ILSI 中国、韓国支部において議事録確認中 ・部会（2011 年度第 7 回（9/6）、第 8 回（10/12））開催
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度東アジアプロジェクト：こちらで作成した食品添加物に関する調査質問表を ILSI 中国、韓国、東南アジア支部に送付、記入依頼した。年内の回収を目指す。来年 2/21 にインドネシア・ジャカルタにて開催予定の国際会議プログラムを ILSI 東南アジア支部の協力のもと作成中。その他調査事項も予定通り遂行中。 ・第3回 BeSeTo 会議：ILSI 中国、韓国支部において議事録確認後、最終報告書を作成した。 ・部会（2011 年度第 9 回（11/21）、第 10 回（12/8））開催

情報委員会

【情報委員会】

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (1 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 2 号 (通巻 71 号) の発刊。 19 巻 3 号 (通巻 72 号) の翻訳・監修・編集作業進行中。 ・ニュースレター第 5 号発刊。
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (4 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 3 号 (通巻 72 号) の監修・編集作業進行中。 19 巻 4 号 (通巻 73 号) の翻訳作業進行中。 ・ニュースレター第 5 号発刊。
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (5 & 6 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 3 号 (通巻 72 号) の発刊 19 巻 4 号 (通巻 73 号) の監修・編集作業進行中 20 巻 1 号 (通巻 74 号) の翻訳作業進行中 ・ニュースレター第 5 号発刊。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (7・8 月) ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討 ・「栄養学レビュー」誌 19 巻 4 号 (通巻 73 号) の発刊 20 巻 1 号 (通巻 74 号) の監修・編集作業進行中 20 巻 2 号 (通巻 75 号) の編集委員会開催 (8/30)
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 2 回 (9・10 月)。 ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 20 巻 1 号 (通巻 73 号) の監修・編集作業進行中。 20 巻 2 号 (通巻 74 号) の翻訳・監修作業進行中。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会開催 1 回 (12 月)。 ・日常業務としてのホームページ更新。会員専用対応検討。 ・「栄養学レビュー」誌 20 巻 1 号 (通巻 73 号) の発刊。 20 巻 2 号 (通巻 74 号) の監修・編集作業進行中。 20 巻 3 号 (通巻 75 号) の翻訳作業進行中。 ・年間契約更改 ・女子栄養大学出版部との覚書改定

***編集部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 104 号の編集作業中。 ・第 6 回「栄養とエイジング」国際会議・ILSI Japan30 周年セミナー 1st サークュラー作成支援
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 104 号の発刊 ・「イルシー」誌 105 号の編集作業中。 ・第 6 回「栄養とエイジング」国際会議・ILSI Japan30 周年セミナー 2nd サークュラー作成支援
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 105 号の発刊 ・「イルシー」誌 106 号の編集作業中 ・第 6 回「栄養とエイジング」国際会議・ILSI Japan30 周年セミナー 2nd サークュラー完成
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 106 号の発刊 ・「イルシー」誌 107 号（第 6 回「栄養とエイジング」国際会議要旨集）の編集作業中 ・「イルシー」誌 108 号の原稿依頼中
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 107 号（第 6 回「栄養とエイジング」国際会議 ILSI Japan30 周年記念シンポジウム要旨集）の発刊。 ・「イルシー」誌 108 号の原稿依頼中。
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」誌 108 号（ILSI Japan30 周年記念シンポジウムプロシーディング）の発刊。 ・「イルシー」誌 109 号の原稿査読中。 ・「イルシー」誌 110 号（第 6 回「栄養とエイジング」国際会議プロシーディング）の原稿査読・編集中。

事務局

【ILSI Japan 総会】

<p>1, 2 月</p>	<p>平成 23 年度通常総会が 2 月 22 日（火）に昭和女子大学 80 年館オーロラホールで開催され、当日は出席 26 名、書面表決 17 名であった。</p> <p>第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書案承認の件 議案 1 資料「平成 22 年度（2010）事業報告書案」に基づき事業報告を行い、議長がこれに対する質疑および意見を求めた。 それに対して、部会活動の今後の方向性について質問があり、従来は部会員により自主的に活動がなされていたが、今後は理事会も含めた ILSI Japan 全体で積極的なイニシアティブをとり部会活動の活性化を図ることが活性化委員会の提言に入っているとの応答があり、その他に質疑および意見を求めたところ特に無く、直ちに採決に入り、満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 2 号議案 平成 23 年度事業計画書案承認の件 議案 2 資料「平成 23（2011）年度事業計画書案」に基づき事業計画の内容が説明された。 それに対してシンポジウムを計画する際に、もう少し会員の協力を含めた努力により、参加者の広がりを図るべきであるとの意見が出た。 議長がその他に質疑及び意見を求めたところ、特に無く、直ちに採決に入り、満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 3 号議案 平成 22 年度決算報告書案承認の件 議案 3 資料「平成 22 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書、同貸借対照表、同財産目録、及び収益事業損益計算書」に基づき、決算報告があった。 引続き監事より監査報告を行い、必要な監査手続きにより監査したところ内容については適正妥当と認めるとの報告があった。 議長がこれらに対する質疑および意見を求めたが特に無く、採決を行った結果、満場一致をもって本件を可決承認した。</p> <p>第 4 号議案 平成 23 年度収支予算書案承認の件 議案 4 資料「平成 23 年度特定非営利活動に係わる事業会計収支予算書案」に基づいて予算案の内容を説明した。 議長がこれに対して質疑、意見を求めたが特に無く、採決を行った結果、満場一致をもって本案が可決承認された。</p> <p>報告事項 1．ILSI Japan 30 周年記念 第 6 回「栄養とエイジング」国際会 2．本部総会 3．Bangkok Conference</p>
<p>3, 4 月</p>	
<p>5, 6 月</p>	
<p>7, 8 月</p>	

9, 10月	
11, 12月	

【事務局】

1, 2月	特になし
3, 4月	<p>4月1日付でILSI Japanの事務局長が交代することになりました。</p> <p>浜野弘昭氏は、平成18年5月1日事務局長として就任以来、国内外の事業展開、ILSI本部および支部との連携や調整においてご活躍いただきました。氏のこれまでのご貢献に対して、感謝申し上げたいと思います。</p> <p>事務局長・理事として、味の素(株)の山口隆司氏をお迎えします。</p> <p>会員各位におかれましては、これまで以上に、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
5, 6月	<p>ILSI 会長 (Dr. Peter van Bladeren) が5月16日に ILSI Japan 事務局を訪問し、木村理事長の歓迎の挨拶に引き続き1時間半にわたり ILSI Japan の活動報告と意見の交換が活発に行われた。</p> <p>ILSI Japan 紹介と2010年活動報告と2011年計画(概要)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ILSI 支部との共同ワーク ・ CHP の活動報告 ・ 農水省プロジェクト「東アジアの食品等の規格基準、分析方法の調査と結果の共有 ・ ILSI Japan 創立30周年記念「第6回栄養とエイジング国際会議」
7, 8月	特になし
9, 10月	特になし
11, 12月	特になし